

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第6回運営委員会 開催日：1月16日。出席者：田中委員長，ほか16名。

1. 昭和56年度俵論文賞の候補論文として35件があげられ，各論文に対し5名の査読者を決定した。
2. 各分科会より活動報告がなされた。

第11回和文会誌分科会 開催日：1月12日。出席者：田中主査，ほか24名。

1. 22件の論文審査報告がなされ，掲載決定16件，その他6件であった。
2. 「鉄と鋼」第67年第7号（5月号）に論文12件掲載決定した。

第11回欧文会誌分科会 開催日：1月13日。出席者：大森幹事，ほか12名

1. 10件の論文につき審査報告がなされ，掲載可2件，照会后掲載可6件，修正依頼1件，一旦返却1件であった。

標準化委員会

整合性調査特別委員会

第1回本委員会 開催日：12月1日。出席者：田中委員長，ほか26名

1. 工業技術院からのJISとISOの整合性調査委託についての説明。
2. 委託調査作業計画についての説明。
3. 総括調査分科会作成の整合性調査マニュアルの説明。
4. 各分科会の作業状況報告。
5. 規格協会における整合性の動きについて。
6. 整合性調査の今後の進め方について。

第3回鋼管調査分科会 開催日：11月27日。出席者：丸岡主査，ほか11名

1. 鋼管関係共通判定基準を一部修正。
2. 寸法・寸法許容差の整合性について検討。
3. 寸法関係（NKK），ステンレス関係（冶金），炭素鋼・合金鋼および共通事項（住金）と分担し，措置区分案を次回に提出することにした。

第3回鋼質試験調査分科会 開催日：12月11日。出席者：石川主査，ほか14名

1. 今後のスケジュールについて説明。
2. JIS G 0551～JIS G 0553，JIS G 0555～JIS G 0561 各規格の整合性調査結果について各担当委員より

説明があつたのち討議した。

3. JIS G 0560（改正案）について幹事より一部訂正の説明があり了承された。ついでJIS G 0561（改正案）について担当委員より説明があり討議した結果，前回より問題となつていた噴水口内径をISOに合わせることにし，その他は提案内容どおり了承された。

第3回ステンレス鋼調査分科会 開催日：11月28日。出席者：森田主査代行，ほか15名

1. あらかじめ各委員に送付されたB表案について，担当会社委員から判断基準ならびに措置区分について説明があつた。

3. 規格別に各担当会社委員作成のB表について説明があつたのち，種々討議が行われた。

3. 主要項目である種類・化学成分・機械的性質・熱処理については，判断基準および措置区分の最終結論が得られなかつたため，担当会社委員で協議を行い，最終案をまとめることとした。

ISO 鉄鋼部会

第12回SC2分科会 開催日：12月3日。出席者：水野主査，ほか7名

1. CCCNの審議。
2. DIS 4948/2の審議。

高温強度研究委員会

金材技研クリープデータシート連絡分科会 開催日：12月18日。出席者：田中主査（東工大），ほか8名

1. 金属材料技術研究所におけるクリープデータシート作成状況について，昨年7月報告後におけるこれまでの進行状況および56年度の試験計画に関し下記により報告並びに審議が行われた。

- (1) NRIM/CDS試験および刊行計画について
- (2) クリープデータシート作成進行状況について
- (3) クリープデータシート作成計画(Ⅱ)(1981～1985)について
- (4) SUS 304-HP突き合わせ溶接継手クリープデータシート作成計画の進行状況について
- (5) SUS 304厚板の電子ビーム溶接継手の製作要領(案)について
- (6) “金材技研クリープデータシート作成用試験材料購入のためのアンケート”の結果と採取希望について
- (7) 試験条件と材料仕様(案)について
- (8) 10万時間到達した試験先の処置方法について